



スポーツ山形



(公財)山形県体育協会

複合成年男子B 優勝

久保 貴 寛 (県体育協会)



やまがた樹氷国体

～樹氷輝き 人つどい 未来につなげ 君の元気～

大回転成年男子B 優勝

山 科 博 史 (丸光建設工業)

やまがた樹氷国体 を終えて

先月 21 日から 24 日の 4 日間にわたり開催された「やまがた樹氷国体」につきましては、開催直前の大雪の影響が心配されたところですが、関係各位のご尽力により、無事開催することができました。

開催期間中は、天候にも恵まれ、全国から来県された選手・監督、大会役員をはじめ、競技観戦や歓迎交流広場への来場者等、当初の見込みを上回る延べ約 37,000 人となる多くの方々への参加をいただいたところです。

競技においては、県勢は優勝 2 を含む 15 の入賞を果たす活躍により、天皇杯得点は 78 点を獲得し、男女総合成績が第 5 位となり、前回大会を上回る好成績を収めることができました。

また、全都道府県選手団が参加した開始式では、県民の歌「最上川」をはじめ、「最上川舟唄」や「花笠音頭」など本県を代表する伝統芸能や文化活動を披露し、全国からの参加者を温かくお迎えしました。

蔵王体育館前の歓迎交流広場には、各都道府県の選手・役員をはじめ、多くの県民が集い、「つや姫」おにぎりや漬物のふるまい、鍋ものや特産品の販売などを通じて、ふれあいと交流を深めました。

各宿泊施設においても、「啓翁桜」でのお迎えや「つや姫」等の山形の食によるおもてなしなど、大会を通して、全国から参加された方々に、山形らしいおもてなしが記憶に刻まれた大会になったものと考えております。

最後に、大会開催にあたりご支援とご協力いただきました関係の皆様へ心より感謝申し上げます。



～国体の本県開催に携わって～

国民体育大会の開始式にあたり、東海大学山形高校吹奏楽部・山形南高校吹奏楽部・山形西高校合唱団、そして独唱に山形北高校の脇田つぐみさんと、高校生の皆さんが式典音楽隊として活躍して下さいました。山形北高校松浦雪乃さんと山形西高校佐藤絵菜さんがアナウンサーとして式典を進行するなど、多くの高校生が開始式を盛り上げてくれました。これまで競技とは関わりの無かった文化部の生徒たちにも、国体本県開催は大きな力を与えたようです。参加者からの声を聞いてみました。

「樹氷国体開催に参加して」

山形西高校 酒井 祐佳

私たち山形西高音楽部は、合唱隊として樹氷国体開始式に参加しました。各県の代表として蔵王体育館に集まった選手の方々に、歓迎と応援の気持ちを込めて、県民歌「最上川」、入場行進の「スポーツ県民歌」を歌わせていただきました。競技者の方々へのエールとしての合唱は貴重な経験になり、またスポーツ選手をより身近に感じることができました。舞台は違いますが、それぞれの場所で、お互いに頑張っていること、自分達にも大きな励みとなりました。



「山形のパワーを実感」

山形西高校 佐藤 絵菜

司会は影の役割ではありますが、国体という大きな大会に少しでも関わることができ、嬉しく思います。不安はありましたが、選手の方々やステージ発表をしてくださった皆様へパワーをもらい、明るく楽しく司会を務めさせていただきました。普段の生活では味わえない貴重な体験をすることができました。本当にありがとうございました。選手の皆様、これからも夢に向かって頑張ってください。陰ながらではありますが応援しています。

第69回国民体育大会冬季大会成績

男女総合成績 5位 (172点)

- スケート・アイスホッケー競技会 男女総合12位 (94点)
- スキー競技 男女総合5位 (78点)



▲少年男子1,500m 高石悠斗(山形中央高)



▲少年男子5,000m 一戸誠太郎(山形中央高)



▲成年男子1,500m 小田卓朗(早大・山形中央高出)

◆冬季国体スキー・スケート県勢の入賞者

順位	競技名	種別	種目	選手名	所属
1位	スケート(スピード)	少年男子	10,000m	一戸 誠太郎	山形中央高校 3年
	スケート(スピード)	少年男子	5,000m	一戸 誠太郎	山形中央高校 3年
	スケート(スピード)	少年男子	1,500m	高石 悠斗	山形中央高校 3年
	スケート(スピード)	成年男子	1,500m	小田 卓朗	早稲田大学 3年
	スキー	成年男子B	ジャイアントスラローム	山科 博史	丸光建設工業
	スキー	成年男子B	コンバインド	久保 貴寛	山形県体育協会
2位	スケート(スピード)	成年男子	1,000m	小田 卓朗	早稲田大学 3年
	スケート(スピード)	少年男子	5,000m	由井 直樹	山形中央高校 1年
	スキー	成年男子C	ジャイアントスラローム	瀧澤 宏臣	日建総業
3位	スケート(スピード)	成年男子	2,000mリレー	中尾 光杜・坂本 永吉 小田 卓朗・森永 一帆	山形県選抜
	スキー	少年男子	ジャイアントスラローム	雲野 ジャスティン	日大山形高校 2年
4位	スケート(スピード)	成年男子	1,500m	森永 一帆	山形県体育協会
	スケート(スピード)	少年男子	1,000m	横山 碧生	山形中央高校 1年
	スキー	少年男子	ジャイアントスラローム	深瀬 悟志	日大山形高校 2年
	スキー	成年女子B	クロスカントリー	矢口 小百合	山形県体育協会
	スキー	成年男子B	スペシャルジャンプ	鈴木 康哲	東北警備保障
5位	スケート(スピード)	少年男子	10,000m	青山 航大	山形中央高校 3年
	スキー	成年男子A	スペシャルジャンプ	佐々木 悠兵	日本空調サービス
6位	スケート(スピード)	少年男子	500m	青山 航大	山形中央高校 3年
	スケート(スピード)	少年男子	1,500m	横山 碧生	山形中央高校 1年
	スキー	成年男子A	ジャイアントスラローム	清野 高悠	早稲田大学 2年
	スキー	少年男子	スペシャルジャンプ	情野 匡紀	九里学園高校 2年
	スキー	女子	クロスカントリー女子リレー	五十嵐 美鈴・田村 希 矢口 小百合・青木 富美子	山形県選抜
7位	スケート(スピード)	少年男子	2,000mリレー	青山 航大・吉田 優太 横山 碧生・高石 悠斗	山形県選抜
	スキー	成年男子B	スペシャルジャンプ	遠藤 晃太	山形市体育協会
	スキー	成年女子B	クロスカントリー	青木 富美子	真室川高校教員
	スキー	少年男子	クロスカントリーリレー	下山 大輔・沼澤 竜介 柴崎 俊輔・柏倉 一輝	山形県選抜
	スキー	成年男子	クロスカントリーリレー	鈴木 貴弘・杉沼 聖平 高橋 哲也・久保 貴寛	山形県選抜

写真提供
山形新聞社



体育協会表彰

て県庁講堂で執り行われました。



殊勲賞

種目	氏名	所属	主な成績	順位	
スピードスケート	加藤 条治	日本電産サンキョー	第22回オリンピック冬季競技大会(2014/ソチ)スピードスケート 男子500m	第5位	
	"	小田 卓朗	早稲田大学3年	第69回国民体育大会冬季大会スケート競技会 成年男子1500m	優勝
	"	ウィリアムソン御門	県立山形中央高校3年	第22回オリンピック冬季競技大会(2014/ソチ)スピードスケート 男子5000m	出場
"	"	一戸 誠太郎	第20回全日本スピードスケート距離別選手権大会 男子3000m・5000m	優勝	
	"	"	第20回全日本スピードスケート距離別選手権大会 男子5000m	優勝	
	"	"	第63回全国高等学校スケート競技選手権大会 男子1000m・1500m	優勝	
"	"	高石 悠斗	第69回国民体育大会冬季大会スケート競技会 少年男子5000m・10000m	優勝	
	"	"	第63回全国高等学校スケート競技選手権大会 男子5000m・10000m	優勝	
	"	"	第69回国民体育大会冬季大会スケート競技会 少年男子1500m	優勝	
スキ	山科 博史	丸光建設工業	第63回全国高等学校スケート競技選手権大会 スピード競技 男子 学校対抗	優勝	
	"	久保 貴寛	山形県体育協会	第69回国民体育大会冬季大会スキージャンプ競技会 大回転成年男子B	優勝
	"	"	第69回国民体育大会冬季大会スキージャンプ競技会 複合成年男子B	優勝	
水泳	小関 也朱篤	日本体育大学4年	第27回ユニバーシアード競技大会 男子100m平泳ぎ	優勝	
	"	"	第89回日本学生選手権水泳競技大会 男子100m平泳ぎ(大会新記録)	優勝	
	"	"	第6回東アジア大会 男子100m平泳ぎ・400mメドレーリレー	優勝	
"	"	渡辺 耶唯	FINA競泳ワールドカップ東京2013 男子100m平泳ぎ	第3位	
	"	"	FINA競泳ワールドカップ東京2013 女子200mバタフライ	第2位	
	"	西脇 怜奈	平成25年度全国高等学校総合体育大会 水泳競技大会 女子200m背泳ぎ	優勝	
"	"	須藤 美里	第36回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 女子15~16歳区分100m・200m背泳ぎ(共に大会新記録)	優勝	
	"	"	第68回国民体育大会 水泳競技大会 競泳競技 少年女子B100m背泳ぎ	優勝	
	"	"	平成25年度全国中学校水泳競技大会 女子100m背泳ぎ	優勝	
水球	縄 怜奈	天童市立第二中学校2年	第36回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 女子13~14歳区分400m個人メドレー	優勝	
	曲山 紫乃	県水泳連盟	水球ワールドリーグアジア・オセアニアラウンド	第4位	
	"	近野 洋平	日本体育大学3年	第27回ユニバーシアード競技大会	第6位
"	"	高橋 綾佳	世界ジュニア水球選手権大会	第9位	
	"	"	第89回日本学生選手権水泳競技大会 水球競技	優勝	
	"	"	第89回日本選手権水泳競技大会 水球競技	優勝	
"	"	細谷 香奈	水球ワールドリーグアジア・オセアニアラウンド	第4位	
	"	"	第27回ユニバーシアード競技大会	第6位	
	"	"	第89回日本学生選手権水泳競技大会 水球競技	優勝	
カヌー	古澤 康太	県立谷地高校3年	第89回日本選手権水泳競技大会 水球競技	優勝	
	"	松田 廉	県立谷地高校2年	第89回日本学生選手権水泳競技大会 水球競技	優勝
	"	三澤 涼太	県立谷地高校2年	第89回日本選手権水泳競技大会 水球競技	優勝
"	"	山形県立谷地高等学校男子カヌー部	第68回国民体育大会 カヌースプリント競技 少年男子カヤックペア200m・500m	優勝	
	"	山形県選抜チーム	平成25年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会 男子カヤックペア200m・500m	優勝	
	"	"	第68回国民体育大会 カヌースプリント競技 少年男子カヤックペア200m・500m	優勝	
"	"	菊池 憲斗	平成25年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会 男子カヤックペア200m・500m	優勝	
	"	木村 大翔	第9回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会 男子カヤックペア1000m	優勝	
	"	西川町立西川中学校3年	第9回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会 男子カヤックペア1000m	優勝	
陸上	佐藤 日奈子	私立酒田南高校2年	平成25年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会 男子カヤックペア200m	優勝	
	林 国孝	きらやか銀行	第68回国民体育大会 カヌースプリント競技 少年男子カヤックペア200m・500m	優勝	
	"	高橋 諒	第9回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会 男子カヤックペア1000m	優勝	
ボクシング	"	拓殖大学4年	平成25年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会 男子カヤックペア200m	優勝	
	"	筑波大学1年	第68回国民体育大会 カヌースプリント競技 少年男子カヤックペア200m・500m	優勝	
	"	パイオニアレッドウィングス	第9回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会 男子カヤックペア1000m	優勝	
バレーボール	高橋 健太郎	パイオニアレッドウィングス	第9回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会 男子カヤックペア1000m	優勝	
	"	パイオニアレッドウィングス	平成25年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会 男子カヤックペア200m	優勝	
	"	パイオニアレッドウィングス	第68回国民体育大会 カヌースプリント競技 少年男子カヤックペア200m・500m	優勝	
新体操	国井 麻緒	日本大学山形高校2年	第9回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会 男子カヤックペア1000m	優勝	
	"	"	平成25年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会 男子カヤックペア200m	優勝	
	"	"	第68回国民体育大会 カヌースプリント競技 少年男子カヤックペア200m・500m	優勝	
バスケットボール	前田 悟	県立山形南高校2年	第9回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会 男子カヤックペア1000m	優勝	
	"	後藤 沙奈	平成25年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会 男子カヤックペア200m	優勝	
	"	山形銀行ライヤーズ	第68回国民体育大会 カヌースプリント競技 少年男子カヤックペア200m・500m	優勝	
レスリング	尾形 翼	株式会社ALSOK	第9回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会 男子カヤックペア1000m	優勝	
	"	鶴巻 宰	陸上自衛隊体育学校	平成25年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技大会 男子カヤックペア200m	優勝
	"	"	第68回国民体育大会 カヌースプリント競技 少年男子カヤックペア200m・500m	優勝	
ソフトテニス	山形県選抜チーム	"	第68回国民体育大会 カヌースプリント競技 少年男子カヤックペア200m・500m	優勝	
	フェンシング	山形県選抜チーム	第68回国民体育大会 カヌースプリント競技 少年男子カヤックペア200m・500m	優勝	
	"	"	第68回国民体育大会 カヌースプリント競技 少年男子カヤックペア200m・500m	優勝	



平成25年度 山形県

表彰式は、山形県スポーツ賞と併せ

奨励賞

種目	氏名	所属	主な成績
水泳	渡邊 直幸	上市役所	第64回日本実業団水泳競技大会 競泳競技 30歳以上の部50m背泳ぎ (大会新記録) 優勝
飛込	皆川 詩音	高島町立和田小学校5年	とびうお杯第28回全国少年少女水泳競技大会 飛込競技 女子 優勝
陸上	細谷 慎一	山形陸上競技協会	第34回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 M90 (90~94歳) 砲丸投・やり投 優勝
"	田崎 元一	山形陸上競技協会	第34回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 M85 (85~89歳) 80mH 優勝
"	金子 茂	大江町立左沢小学校 藤田の丘分校	第34回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 M50 (50~54歳) 3000m障害 優勝
新体操	山形RG		2013全日本社会人新体操選手権大会 女子3部 団体総合 優勝
レスリング	鈴木 芳晴	アルテ株式会社	第13回全日本マスターズレスリング選手権大会 51~55歳の部 58kg級 優勝
"	河合 享	山形市消防署	第13回全日本マスターズレスリング選手権大会 41~45歳の部 55kg級 優勝
"	池田 知和	陸上自衛隊	第13回全日本マスターズレスリング選手権大会 41~45歳の部 69kg級 優勝
"	大澤 健夫	日本郵政	第13回全日本マスターズレスリング選手権大会 41~45歳の部 97kg級 優勝
"	設楽 卓	山形市役所	第61回全日本社会人レスリング選手権大会 マスターズA (35~40歳) 74kg級 優勝
卓球	伊藤 耕平	東北文教大学短期大学部2年	第48回全国私立短期大学体育大会 卓球競技 男子シングルス・ダブルス 優勝
"	飛渡 義仁	東北文教大学短期大学部1年	第48回全国私立短期大学体育大会 卓球競技 男子ダブルス 優勝
"	山形県立霞城学園高等学校女子卓球部		平成25年度全国高等学校定時制通信制体育大会 卓球競技大会 女子団体 優勝
剣道	佐久間 陽子	県立左沢高校教諭	第2回スポーツアコード (国際競技団体連合) コンバットゲームズ2013 剣道競技 三~五段の部 女子選抜個人戦 優勝
杖道	工藤 千代子	あかねヶ丘ケアセンター	第40回全日本杖道大会 七段の部 優勝
"	村田 幹子	あすなる書店	第40回全日本杖道大会 七段の部 優勝
躰道	佐藤 美侑	県立鶴岡中央高校3年	第6回世界躰道選手権大会 女子個人法形競技 優勝
"	佐藤 愛	酒田市立第六中学校3年	第35回全国少年少女躰道優勝大会 女子法形競技 中学生の部 優勝
"	japanBチーム		第6回世界躰道選手権大会 女子団体法形競技 優勝

平成25年度 スポーツ功労者 (県体協関係)

◆山形県体育協会表彰

◇功労賞 (市町村体協・競技団体推薦)

今田 賢一 (東根市) 小林 伸也 (川西町) 澁谷 益生 (鶴岡市) 兼子 善男 (水泳) 後藤 忠二 (陸上競技)
 菅原 和敏 (バレーボール) 星川 恵美 (体操) 高梨 俊廣 (体操) 細谷 壽守 (バスケットボール) 鈴木 和之 (ソフトテニス)
 金田 賢一 (野球) 松田 好功 (ソフトボール) 阿部 英典 (バドミントン) 齋藤松太郎 (剣道) 國分 清貢 (山岳)
 後藤 正博 (アーチェリー) 高橋 春一 (アーチェリー) 石井 宗吉 (クレール射撃)

◇功労賞・ライオンズスポーツ賞 (競技団体推薦)

木村 文浩 (カヌー) 芦野 貴士 (カヌー) 橋本 佳久 (カヌー) 福島 雅人 (バスケットボール)

◇特別賞

ウィリアムソン師門

本県高校生として初のオリンピック冬季競技大会出場の大快挙を成し遂げた功績によるもの



ソチオリンピック2014

~ソチにかけた本県スピードスケート選手~



ソチ冬季五輪のスピードスケートは、2月8日競技がスタートし、男子5000mのウィリアムソン師門選手 (山形中央高3年) は、6分42秒88で26位となった。県勢が高校生で五輪に出場したのは、1964年の東京五輪で陸上女子200mに出場した伊沢まき子さん (当時高島高) 以来二人目で、冬季では初めてにあたる。

今季、日本長距離界に彗星のごとく現れたウィリアムソン選手は、後半の粘り強さを武器に予想を超える成長を遂げ、県内の高校生では初の冬季五輪出場の快挙を果たした。初の舞台では力を出し切れなかったが、この経験を糧に、今後の日本長距離界を牽引し、4年後、8年後の五輪で成果を発揮してほしい。

3大会連続で五輪に出場したスピードスケート男子500mの加藤条治選手 (日本電産サンキョー・山形中央高出)。銅メダルを手にしたバンクーバー大会から4年、ほぼベストの状態で開催されたソチ。10日、男子500mが行われ、加藤選手は2回とも34秒台をそろえ、合計1分9秒74で日本勢トップだったが、5位に終わり悲願の金メダル獲得はならなかった。滑走技術を改良してきたオランダ勢が表彰台を独占した。

山形中央高スケート部の椿央監督は、「山形の誇りであることに変わりはない。また4年後に向けて頑張してほしい」と今後への挑戦に期待を込めた。

私たち県民も、両選手の4年後の挑戦する姿を目にしたいと願っている。

(写真提供/記事一部抜粋 山形新聞社)

人物紹介

生涯スポーツトランポリン

山形県トランポリン協会

普及部長 伊藤 英司



今回紹介いたします人は高瀬千佳子さんです。

昭和十八年生まれ、トランポリンを始めて四十年になる山形県、あるいは全国でも先駆者の

人材です。

きっかけは、子育て時代に肩こりがひどく後ろも振向けない状態だったそうです。

そんな時に山形県体育館主催の婦人講座に参加し、当時は珍しい事と興味もありトランポリンを始めたとの事です。

その後、肩こりも改善され、当時、揚妻先生の指導で昭和五十二年からポーパスクラブで週二回の練習をこなし子育てもこなしと忙しい日々を過ごしておりました。

現在も週一回のペースで自身の練習をこなすかわら、全国、東北規模の大会にも参加し、その人柄から全国に交流の輪を広げております。

また、山形県トランポリン協会の理事、山形市トランポリン協会理事長に就任し山形県、山形市のトランポリン発展の為に尽力を尽くされ、山形県体育協会評議員を十八年スポーツ山形編集員、平成二十年からは生涯スポーツ推進委員をされております。本人曰く、トランポリンは生涯続ける！と力強い言葉を頂きました。益々のご活躍を祈念しております。



スポーツ指導者ノート

指導者として思う事

ながいユナイテッドFC指導者養成部

(47FAインストラクター) 大沼 久一



私の指導者としての目的は、「関わる人達がより長くサッカーに関わり続ける事」と考えています。

なぜなら、子供から年配の方

まで自分にあつた機会にプレー出来る事、その家族や友人がサッカーを語り楽しむ事が出来る事があればこそ豊かなスポーツ文化が生まれると考えるからです。その為にも指導者として役割を理解する事、自ら取り組む環境作りが必要だと思います。

私が、サッカーを始めた三十年前には、考えられない程の進歩があると思います。人工芝のピッチがあり、世界の情報も自宅で安易に収集が出来、W杯の常連になるとは想像もしていませんでした。今、現場に立つて思う事は失くした物もあるのかな？と感じます。

「やってみる」より「習う」の選手が多くなってきたと感じます。それは、大人の関わりの課題でもあると思います。親が先回りして準備したり、コーチが、ワンプレーごとに指示したりなど「やってみる」機会を奪ってないかと感じます。やはり本来の役割は、個々の目的まで案内する事、成功の喜びと失敗の痛みを感じながら自分で動き出せるように仕向ける事だと思えます。選手の視点にも立ち物事を感じます。で私も気づきを学ぶ事があります。共に創る場を作る事が、目的に近づく最初の一步だと思えます。



市町村体育協会だより

町民総スポーツの推進を目指して

三川町体育協会会長 坂 義若

本協会は、昭和三十年に発足以来、町民総スポーツの推進と競技力の向上を目指し、積極的に事業を推進し、体育・スポーツの振興に努めています。

現在は、十四団体が加盟し、それぞれの団体が主体的に活動しています。また町からの委託を受け、各団体が町民を対象に各競技大会やスポーツ教室を開催し競技者の底辺拡大と競技力の向上を図っています。

最近、力を入れていることは、最新の情報を提供することです。スポーツ教室では、理学療法士によるケガ予防に関する講演、プロのサッカーコーチや大学の柔道指導者による実技研修などを行いました。今後もトレーニング理論や栄養学に関する講演・実践を計画しています。

毎年五月には、町のスポーツ関係者が一堂に会し、スポーツ総合開会式を開催し、前年度に全国・東北・県大会で好成績を収められた方々への表彰や町スポーツ大会優勝チームからの優勝杯返還などを行い、親睦を深めています。本年度は一団体と二十五名を表彰することができました。

今後は、今まで以上に町内スポーツ団体との連携を強化し、魅力あるスポーツイベントの開催を通して、スポーツ人口の拡大を目指します。



スポーツ総合開会式



スポーツ教室「ケガ予防のためのトレーニング指導」

競技団体 ニュース

ソフトテニスに魅せられて

山形県ソフトテニス連盟

理事長兼事務局長 山田 耕司

本年の十一月、公益財団法人日本ソフトテニス連盟は、ソフトテニス創始一三〇周年（日本連盟創立九十周年）の記念事業を盛大に行う予定であります。下部団体である当連盟も同じように歴史が古く今や小・中・高校生、一般、シニア等の会員登録数が毎年五〇〇〇名台を維持しております。

特に競技団体の底辺となる小学生、中学生のジュニア層は会員数も増え、また一貫指導のお陰で東北は勿論全国的にも良い成績を挙げてあります。

「いつでも、どこでも、だれでも」気楽に出来るスポーツ。小学三年生から九十才の方まで幅広く出来るスポーツ。怪我や事故の少ない最も安全なスポーツ

それが、日本で誕生したソフトテニスであります。平成二十五年度開催の第六十八回東京国民体育大会では、山形県少年男子が見事に優勝をする事が出来ました。

これは当連盟が国体での優勝を「最重要目標」に掲げているものであり、悲願達成であります。また、これは長年の会員全員の方々のご協力、ご支援によるものであり、指導者育成並びに選手強化がようやく軌道に乗りようやく定着した結果であると思います。

当連盟はこれからもソフトテニスの楽しさ、面白さを多くの方々に知ってもらい、魅力のあるスポーツの一つとして普及、振興に取り組む所存であります。



クラブ 通信

村民総参加のクラブ実現へ

Oh!歳SPORT会長 菅野 明

大蔵村は、人口三千六百人と県内で最も小さな村です。総合型地域スポーツクラブ創設の前段階として平成十三年から十八年まで二地区を「生涯スポーツ二十一推進モデル地区」に指定し、地区の特色をふんだんに生かした事業を展開していたことから平成二十一年「Oh!歳SPORT」が設立されました。全ての小中学校が統合され村単一校となり、閉校後の校舎は生涯学習センターとして、教育、スポーツ振興の場として、青年層を中心に活用されています。クラブの活動として五学区を会場に「どろんこバレー」「おおくらスポレク祭」「バドミントン大会」「月例グラウンドゴルフコンペ」「地面出し競争」を実施しています。設立当初心配しておりました会員数も二百六十名を超え目標とする人口一割の会員数を目指しています。今後も旬な事業を旬なうちにタイムリーに提示し、笑顔と元気で「やりたいことを実現するクラブ」として、地域と共に歩み、地域と共に成長するクラブづくりを行い、微力ながら地域社会全体の利益と豊かさの任を担って研鑽していきます。



地面出し競争



スノートレッキング

山形県スポーツ少年団が

設立五十周年を迎えました

山形県スポーツ少年団は昭和三十八年四月に設立され、以来「地域の子どもたちは地域で育てる」を指針として歩み、今年度設立五十周年を迎えました。去る、十一月十六日には五十周年記念式典を開催し、日本スポーツ少年団の坂本祐之輔本部長による「夢を夢で終わらせない Road to Dreams」と題する記念講演のほか、日本スポーツ少年団顕彰及び山形県スポーツ少年団表彰（功労者・優良団）、五十周年を記念して募集したキャッチフレーズの最優秀賞に輝いた、「感謝 感動 深まる絆くスポーツで広げようみんなの輪く」（山形県三川町 佐藤博幸氏）の表彰が行われました。また、大山跡道スポーツ少年団（鶴岡市）の団員によるアトラクションが披露され、式典に華を添えました。

山形県スポーツ少年団は、これからの五十年に向けて、「県民総スポーツの中核を担うスポーツ少年団」「スポーツ少年団員の拡充・リーダーの養成」「指導者確保と資質の向上」等の新たな目標を設定し、更なる飛躍を目指してまいります。



我が県の企業スポーツ

モンテディオ山形

株式会社モンテディオ山形設立

山形県民115万人の話題の中心、地域経済活性化の象徴として、モンテディオ山形は生まれ変わりました。

■経営理念

『山形の未来を切り拓こう。』

1、夢と楽しみ、新たな価値の創造

プロサッカーチーム「モンテディオ山形」の力強い躍動をとおして、地域の人々に夢と楽しみを提供するとともに、地域と連携した選手やスタッフの活動をとおして、山形の新たな価値を創造します。

2、スポーツ振興による魅力ある地域づくり

スポーツ施設の機能拡充・利用者ニーズに合致した施設運営、スポーツ教室開催等を行い、スポーツ振興の場を創造します。スポーツ参加をきっかけとして、地域の人々の交流を深め、地域活性化を実現します。

3、健全経営の展開

常に中長期的な見通しを掲げ、幅広いご支援のもと、健全で安定した運営に努めます。



山形銀行ライヤーズ

山形銀行ライヤーズの活躍

25年度は、有望新人5名を加え、「ONE」というチームスローガンのもと、一つ一つの試合を大切に、最終目標である「全国4冠」を目指してスタートしました。

昨年は出場することのできなかった『国体』では、全都道府県出場の中、山形県代表として出場し、第3位という成績を残すことができました。全国4冠はできなかったものの、9月に行われた『全日本実業団競技大会』11月に行われた『全日本社会人選手権大会』の主要2大会で日本一に輝き、全国2冠を達成しました。

また、スポーツ振興を柱とした地域貢献活動として、クリニック（バスケットボール教室）を継続実施し、今シーズンは600名を超える小中学生とバスケットボールを通じて交流を深めることができました。

来シーズンこそは、悲願の全国4冠を達成すべく、更なるチーム体制の強化と地域貢献に注力し、充実した活動を行って参ります。

最後になりますが、皆様方より賜りましたご支援とご声援に、心より感謝申し上げます。



パイオニアレッドウィングス

パイオニアレッドウィングスの成果と来季への抱負 バレーボール部長 島津 光男

平成25年度の一歩の成果は、10月に開催された東京国体での優勝です。実に12年振り2度目の優勝でした。前年度の岐阜国体3位を上回ろうとこれまでにない猛練習を重ね、その成果が実り、山形県の成績向上に寄与出来たことを嬉しく思っています。

その勢いに乗って、11月からのV・プレミアリーグに臨みましたが、3月2日現在、2勝20敗と大きく負け越してしまいました。とても残念な結果ですが、来季はしっかりとチームを建て直し、県民の皆さんのご期待に応えたいと思います。また、引き続き小・中学生を対象としたバレーボール教室の開催等を通じて、バレーボールの普及発展と社会貢献に努めて参りたいと思います。



東京圏東部でアパートを借りる際は当社へどうぞ!

東京駅から40分、総武線東船橋駅前 (有)東船橋不動産

千葉県船橋市・創業36年

TEL 047-424-7200 <http://www.chintai-center.co.jp> 水・木曜定休

大江町出身
鈴木 隆

傷害保険 賠償責任保険 突然死葬祭費用保険

スポーツ安全保険



対象となる事故 団体活動中の事故 / 往復中の事故

保険期間 平成26年4月1日午前0時から平成27年3月31日午後12時まで
(申込受付は平成26年3月から)

あん スポ安くん

いざというときしっかりサポート



公益財団法人 スポーツ安全協会 山形県支部

〒990-2412 山形市松山 2-11-30 TEL 023-642-8321 電話受付時間:午前9時~午後5時(土、日、祝日を除く)